

堰場地蔵のこと

もし県境の雨が長引き、支流域の雨量が多かったら、破堤の惨状は起り得たでしょう。猛威をふるった台風19号。当市も魚野川流域の広範囲に避難勧告を発令。水位が上がりが続き、10か所の避難所には、最も多い時で550人が避難をしていました。次はどうするか。「避難指示」が妥当ではないかと頭をよぎる。「姥島橋下流で決壊か」との情報が入り、対策本部に緊張が走りました。幸いにも、ほどなく県境の豪雨がピークを過ぎ、微量ながら魚野川の水位が低下に転じ、やや安堵したの

は明け方でした。しかし、空が白み、状況が明らかになり驚愕することに。姥島橋下流の堤防と管理用道路は流され、越水までまさに首の皮一枚の状態だったこと。石打地区の五十嵐橋上流にある、東京電力石打発電所敷地の堤防が消え失せていることも判明。さらにその上流にある、平成25年の台風18号で大破し、難工事の末にようやく復旧した取水堰も再び全壊しました。総力を挙げて一日も早い完全復

旧をめざすと同時に「対応はこれでよかったか」「備えは、伝達方法は？」など、多くの課題を検証し、次に生かさなければなりません。

後日、この堤の傍らにある「堰場地蔵」に手を合わせました。いわれでは、800余年の昔、西山の崩落により南魚沼の地は一大湖面と化し、その後、400年は不毛の地であった。時代は変わり、郡奉行大門与兵衛は切通し工事に奮闘を続けたが、その都度水泡に帰した、と。そこに旅僧が通りかかり「人柱をたてろ」と進言。みなから請われ、僧自らが土中に入り、その読経の声は7日7夜続きついに途絶えたという。以来、今日に至るまで破堤はないと伝えられ、永く敬虔に祭られています。堤が危うくなると「地蔵が汗をかく」とも。

近くに生まれた私も、幼少より敬うよう教えられて育ちました。いかに時を経ようと自然と人間の向き合い方は変わらない。あの夜、大汗をかいただろう地蔵様は変わらぬ柔らかなまなざしでしたが、どこか厳しさもたたえて見つめられている、そう思えてなりませんでした。

国際大学留学生 お国自慢コーナー ～boast of my country～

レト王国 コマハセ ツォロ デービッド さん



私の国はこんなところ

天空の王国として知られるレトは、南部アフリカの内陸国で、南アフリカ共和国に囲まれています。国全体が山脈や高山に囲まれた標高1,400m以上の場所にあります。

山に囲まれているため、国内には大小いくつもの川が流れ、素晴らしい景色を生みだしています。ダムや貯水池もあります。年間を通して、

景観、歴史、文化などあらゆる素晴らしい体験ができます。

特に、世界で最も過酷なオフロードバイクの耐久レース「ルーフ・オブ・アフリカ」や「レト夏の高山マラソン」は、国の地形を生かした有名なレースで、どちらも急な上り坂と下り坂が特徴です。

南魚沼市に住んで感じたこと

南魚沼での学生生活は、地域や周りのみなさんのおかげで母国にいるような温かい感じがします。川や山の美しい自然に囲まれ、農作物を育てる庭や畑を持つ家庭を見ていると、母国で同じように農業に従事し、自給自足をする人たちを思い出します。火渡り祭やスキー場、地域の人との交流イベントを通し、日本の文化を学ぶ機会がありました。いつも友好的な人たちと、たくさんの経験を楽しんでいます。



レト王国

公用語	ソト語、英語
首都	マセル
面積	30,355 km ² (137位)
人口	2,230,000人
GDP (PPP)	31億ドル (146位)
通貨	ロチ (LSL)

※ GDPは国内総生産のことで、購買力平価説 (PPP) により算出した数値です